

事業所保存・閲覧用

(評価者の個人名は非公表とされており、保護者様・来訪者様等の閲覧用には、こちらの副本をご使用くださいますようお願いいたします)

東京都福祉サービス第三者評価(2022年度) 評価結果報告書

2023年1月24日

社会福祉法人森友会
あしたの森保育園

御中

〒 160-0023

所在地 東京都新宿区西新宿6-15-1
セントラルパークタワー ラ・トゥール新宿707

評価機関名 特定非営利活動法人福祉総合評価機構

認証評価機関番号

機構 03 -

電話番号 03-6279-0331

代表者氏名 理事長 中込 重秋



以下のとおり評価を行いましたので、東京都福祉サービス評価推進機構に報告いたします。

評価者 (評価者養成講習修了者番号及び担当分野)	修了者番号		担当分野	
	①	H1701075	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	②	H0702006	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	③	H0901051	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	④	H0702077	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	⑤	H0902065	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	⑥		<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	あしたの森保育園			
事業所連絡先	〒	185-0012		
	所在地	東京都国分寺市本町4-12-6		
	TEL	042-312-0128		
事業所代表者氏名	東嶋 亘一			
契約日	2022年	10月	1日	
利用者調査票配布日(実施日)	2022年	10月	14日	
利用者調査結果報告日	2022年	11月	22日	
自己評価の調査票配布日	2022年	10月	7日	
自己評価結果報告日	2022年	11月	22日	
訪問調査日	2022年	11月	29日	
評価合議日	2022年	12月	3日	
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	・利用者調査は共通評価項目及び事業所と協議のうえ設けた独自質問により、インターネットでのウェブアンケート形態で実施した。また調査開始時に書面の配付やポスター掲示などで保護者の理解促進を図るほか、開始後には提出御礼と未提出者への呼びかけを兼ねたチラシの配付、提出期限の延長など、回答率向上にも努めた。 ・事業所に対しては開始時の説明や独自資料の提供等により、第三者評価制度や評価項目・標準項目への理解を深めてもらうほか、職員層も標準項目単位で評価を行えるようにするなど、自己評価がよりの確なものとなるよう配慮した。			

<p>1</p>	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての子どもの最善の利益のために「心身の調和的発達」を促す保育 全ての子どもが、自分の流れで園生活を楽しむ。 ・すべての子どもの最善の利益のために「基本的な生活習慣」の育成を進める保育 全ての子どもが、無理なく自立への道を進む。 ・すべての子どもの最善の利益のために「集団への参加と自主協調の態度」を養う保育 全ての子どもが、協力・協働の喜びを知る。 ・すべての子どもの最善の利益のために「正しい言語生活や自然・社会現象に対する興味と関心」を育てる保育 全ての子どもが、自然・社会に積極的に関わる。 ・すべての子どもの最善の利益のために「子どもらしい表現によって、生きる力の基礎を培う保育」 全ての子どもが、自分なりに表現を楽しんで発表する。
<p>2</p>	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>社会人として世の中の規範や法人の規則を守り、人には優しく常識的な行動をとるとともに、保育士として子ども達に温かい心を持って丁寧に接する人材を求めている。 主任、リーダー等の上位職にある人に関しては、自分の置かれている立場を自覚して、リーダーシップを持って各フロアの職員を率先して引っ張っていてもらいたい。経験の浅い職員は少しでも先輩の職員に近づこうとする意識を持ち、分からない事は質問し、自己研鑽に励んでもほしい。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>あしたの森保育園で預かる子ども達の「最善の利益のために」を常に考えて子ども達に接するようにする他、子ども達の自主性・自発性を促す事ができる生活環境、遊びの環境、行事計画・行事実施・反省を行ってほしい。 職員は「先生」と呼ばれる事に対する自覚と責任を持ち、普段からの服装・態度・発言等を常に意識した行動を取り、他者との協調性を図り、保護者に信頼される人間関係の構築を行ってほしい。</p>

調査対象

調査開始時点での当園の利用世帯59(在籍児童数68)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。

調査方法

調査票及び調査項目は共通評価項目に準拠した。ウェブアンケート形態により実施し、回収は保護者から評価機関への直接電送(外国語世帯のみ調査票の直接郵送)にて行った。結果は選択式・自由記述とも園に報告し、自由意見には回答者の匿名性に配慮した処理を適宜行った。

利用者総数	68
利用者家族総数(世帯)	59
共通評価項目による調査対象者数	59
共通評価項目による調査の有効回答者数	41
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	69.5

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度は「大変満足」56.1%・「満足」39.0%の計95.1%と高い値を得ており、設問別でも「発達に配慮した保育活動」「子どもの興味・関心の伸長」「整理整頓・清潔」「ケガ・体調変化への対応」など全17問中14問で80~90%台の高い支持を得ている。
 自由意見では「異年齢クラスで子どもの数が多いが、様子をよく見てくれており、特に低年齢の子どもにとっては刺激になり、工作など子どもの好きなタイミングでできるよう常に配置され、欠席連絡などがアプリでできる点、屋上にも遊具や園庭がある点もよい」「一人ひとりをよく見て、やりたいことを尊重してくれ、保護者への対応が手厚い」「自主性が尊重されているところ、園内が清潔なところ、意向があれば柔軟に対応してくれるところ、先生たちが信頼できるところがよい」「建物が新しく園内も清潔感があり、ピクニックなども弁当の持参は不要ですべて用意してくれ、クラスが違う先生や園長も子どもの名前を覚え、気軽に話しかけてくれる」などの声が寄せられている。
 さらなる向上を望む意見としては、日常の保育や職員の体制、保護者への子どもの様子の報告・説明や情報発信に関することなどが見られた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	39	2	0	0
実質的な満足度(「無回答・非該当」を除いた割合・以下同)は、「はい」が95.1%、「どちらともいえない」が4.9%となっている。 自由意見は8件で、「友達との関わり、家ではできない遊びや制作など、よい影響を与えていると思う」「集団生活や自宅ではできない遊びを通じた経験が本人の成長につながっていて、自分でご飯を食べられるようになったり、目に見える成長も感じる」「年齢の異なる子が同じフロアで生活しているので、家庭では得られないよい刺激をもたらしていると思う」などのほか、学習的な内容の充実に関する声があった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	40	1	0	0
「はい」が97.6%、「どちらともいえない」が2.4%となっている。 自由意見は8件で、「園で行っている歌やダンス、絵本などの遊びを自宅でも楽しそうに行っている」「絵の具や創作活動、公園への散歩など、楽しかったことを子どもから聞いている」「いろいろなものに興味を持てるよう、たくさんの遊具や遊びを用意してくれている」と思い、楽しそうに通っている」「興味を持ち始めたことに対して、子どもに寄り添って興味をさらに伸ばしてくれている」「工作やブロックなど、好きなことをさせてもらえて楽しそうだ」などの声が寄せられている。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	37	4	0	0
「はい」が90.2%、「どちらともいえない」が9.8%となっている。 自由意見は8件で、「毎日献立を確認するくらい食事が楽しみな時間のような日」「毎日の手作りおやつは子どもも楽しみにしており、また家で与えるおやつ参考にもなり、ありがたい」「家では食事が長くなったり残したりしているが、園ではたくさん食べているようでありがたい」「保育園だと食べてくれる野菜など、工夫してくれていると思う」「バランスのよい食事を提供してくれていると思う」「アレルギー対応もしっかり取り組んでいると思う」などの声が寄せられている。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	28	10	3	0
<p>「はい」が68.3%、「どちらともいえない」が24.4%、「いいえ」が7.3%となっている。 自由意見は13件で、「コロナで制限のある中、いろいろな行事を開催してくれてありがたい」「園庭に出やすいので、安全に自然に触れる機会が得られている」「コロナで行事がない中お祭りや花火の話をするので、保育園の中で学んでおり、葉っぱでお化けを作ったり、石を集めたり、自然に触れているのがわかる」などのほか、戸外活動等のさらなる充実を望む声や、その一因ともなっているコロナ禍の影響に言及する声などが見られた。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	32	1	1	7
<p>「はい」が94.1%、「どちらともいえない」が2.9%、「いいえ」が2.9%となっている。 自由意見は6件で、「先日、延長保育を初めて利用したが、『お気軽にご利用ください！』と言ってくれて少し気持ちが軽くなった」「柔軟に対応してくれて感謝している」「柔軟に対応してくれている」「迎えより朝の登園時間に幅があるが、いつも快く受け入れてもらえている」「いつもいつも感謝しきれない」などの声が寄せられている。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	30	10	1	0
<p>「はい」が73.2%、「どちらともいえない」が24.4%、「いいえ」が2.4%となっている。 自由意見は11件で、「何かあった時は報告してくれ、痕も残らずいつも適切に対処してくれている」「ちょっとしたケガも報告してくれ、安心につながっている」「園庭の周りを壁が大きく囲んでおり、盗撮や不審者等の対策としてよいと思う」「子どもなのである程度のケガはするが、しっかり見てくれていると感じる」などのほか、保育中の安全管理や設備面、外部侵入対策、感染症対策等について、気になる点や要望が挙げられている。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	36	5	0	0
<p>「はい」が87.8%、「どちらともいえない」が12.2%となっている。 自由意見は5件で、「年間予定で知らせてくれているのでありがたく、コロナ禍の中、日程変更や中止の連絡もきちんと判断した中で連絡してくれている」「家族全員で参加できるよう配慮してくれている」「いつも土曜日に設定してくれてありがたい」のほか、行事の日程等における各家庭の負担や就労等への配慮などについて、さらなる検討を望む声が寄せられている。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	34	7	0	0
<p>「はい」が82.9%、「どちらともいえない」が17.1%となっている。 自由意見は11件で、「毎日先生と少し話せる時間があり、ちょっとしたことでも聞けるのでありがたい」「毎日迎え時にしっかり時間を取ってくれたり、連絡ノートに返事をくれたりしている」「相談、確認ごとがあれば、しっかり時間を確保して対応してくれている」「子どもの様子をよく見ているし、共有されており、保護者によく伝えてくれていると思う」などのほか、コミュニケーション機会の確保について、さらなる配慮を望む声があった。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	39	2	0	0
<p>「はい」が95.1%、「どちらともいえない」が4.9%となっている。 自由意見は6件で、「いつもきれいで過ごしやすいと感じる」「いつもとても清潔できれいだ」「新しい園でもあり、とてもきれいだ」「とてもきれいだ」などのほか、各所の清掃について、さらなる配慮を望む声があった。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	35	6	0	0
<p>「はい」が85.4%、「どちらともいえない」が14.6%となっている。 自由意見は8件で、「どの先生もきちんと子どもたちを見てくれていると思い、信頼している」「どの先生も丁寧に話をしてくれ、態度についても好印象な先生が多い」「今まで一時保育も合わせて数か所の保育園を利用したが、一番安心して利用できている」「子どもが話す言葉から、丁寧に接してくれているのがわかる」「自由な服装でエプロンをしていないのがよいと思う」などのほか、職員の接遇や身だしなみなどについて、さらなる検討を望む声が寄せられている。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	38	1	1	1
<p>「はい」が95.0%、「どちらともいえない」が2.5%、「いいえ」が2.5%となっている。 自由意見は9件で、「些細なことも気づいてくれ、必要であれば迅速に医療機関に連れていってくれるなど預けていて安心でき、とても信頼している」「ケガやぶつけるなどした時は、翌日にも問題なかったか様子を確認してくれる」「親が気づいていなかった症状もよく気がついてくれる」「保健の先生が常駐しているので安心している」「丁寧に状況を説明してくれている」などのほか、ケガの時の保護者への伝達や保育中の安全管理に関する声があった。</p>				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	27	5	1	8
<p>「はい」が81.8%、「どちらともいえない」が15.2%、「いいえ」が3.0%となっている。 自由意見は8件で、「報告してくれ、子ども同士に任せてくれる部分もあり、よく見守ってくれていると安心している」「平等に接していると思う」「カメラをチェックしてくれるので安心できる」「確認作業や説明はしっかりしてくれている」「詳細に報告してくれる」「今まで友達とのケンカなどはあまり聞いたことはないが、何かあったら今の先生方ならしっかり対応してもらえると信じている」との声が寄せられている。</p>				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	36	4	0	1
<p>「はい」が90.0%、「どちらともいえない」が10.0%となっている。 自由意見は4件で、「親だとなかなか寄り添えない部分、本当に子どもの気持ちを尊重してくれていると思う」「家庭でも子ども自身の気持ちを伝えてくるので、おそらく園でも気持ちを大切にもらっているのだと思う」「本人の希望を尊重してくれていると思う」「寄り添ってくれていると思う」との声が寄せられている。</p>				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	36	2	0	3
<p>「はい」が94.7%、「どちらともいえない」が5.3%となっている。 自由意見は3件で、「状況に応じて対応してくれていると感じる」「ある程度の共有は仕方ないことだし、ありがたい。深追いしないでくれていると思う」のほか、プライバシー保護等へのさらなる配慮を望む声があった。</p>				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	32	8	0	1
<p>「はい」が80.0%、「どちらともいえない」が20.0%となっている。 自由意見は8件で、「日々の様子をこと細かに教えてくれていると思う」「園での様子が想像しやすいように説明してくれている」「いつも丁寧に説明してくれている」「ノートに丁寧にコメントを書いている」「入園時の説明はとてもわかりやすく、簡潔だと感じた」「個人面談がまだのため、非該当とした」のほか、保育内容等に関する保護者への報告・伝達などについて、さらなる工夫を望む声がある。</p>				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	32	4	0	5
<p>「はい」が88.9%、「どちらともいえない」が11.1%となっている。 自由意見は5件で、「午睡時間の相談をした時にも柔軟に対応してもらえ、助かっている」「その場しのぎの対応ではなく、しっかりと回答してくれている」「対応してくれている」「まだ不満を感じたことはないが、真摯に対応してくれると思っている」「特に不満を感じたことがない」との声が寄せられている。</p>				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	21	10	3	7
<p>「はい」が61.8%、「どちらともいえない」が29.4%、「いいえ」が8.8%となっている。 自由意見は3件で、「『この場合はここにこう相談してくださいね』と説明してもらっている」「紙面ではあったのかも知れないが、記憶にない」「特に説明があった記憶はない」との声があった。</p>				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/>非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/>非該当
	カテゴリ1の講評	
	基本理念をはじめ、法人共通に目指すものについて、保護者や職員への周知に努めている 「すべての子どもの最善の利益のために」を法人の基本理念とし、心身の調和的発達と基本的な生活習慣の育成、集団への参加と自主協調の態度の育みなど、保育において基本とする5つの保育方針を定めている。保護者にはこれらを見学・入園時に説明するほか、行事の際の挨拶や園・フロア便りの配信などを通じ、園の近況や保育の取組の紹介などと併せて発信している。職員には入職時の法人による研修や常勤者に年2回課される自己評価においてこれらを確認するほか、経営層が「覚める」などの法人の保育の軸とするものを、日々の会議等で啓発している。 礼節と計画性を持った園運営を大切にし、状況に応じた柔軟な対策実施にも努めている 園長・主任及び各リーダーが、経営層として園の意思決定や現場の保育の統括を担うとともに、毎月の会議では園長が伝達事項等を書面にまとめ、園の方針などとともに現場に伝えている。「園内にいる人はすべて園の関係者」との考えのもとで、保護者・来客や職員同士など、日頃の挨拶を大切に、礼節ある対応や園運営につなげるとともに、社会の情勢や保護者の状況等に応じ、職員体制や感染症対策などの面で、柔軟に対策を講じることに努めている。また運営の主要スケジュールを早めに現場に伝え、計画性を持った業務実践を促すことも意識している。 各種会議体を整え、必要な意思決定と関係者への決定事項等の周知を行っている 保育や行事などに関する実務的な会議として、各階でフロア会議を設けるほか、それらを通じて集約された現場の課題を、経営層によるリーダー会議や、毎月の常勤者による職員会議で話し合い、必要な意思決定を行っている。リーダー会議は、今年度はあえて園長が出席せずに行い、主任・各リーダーの主体的な課題解決を促す配慮もしている。会議で話し合われた内容は、議事録の確認等によって欠席者を含む組織全体に周知されている。保護者への各種の重要な連絡事項の伝達は、主にアプリでの電子配信によって行っている。	

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>園運営等に関する年度及び中・長期の計画や、日々の業務に関する各計画を作成している</p> <p>年度の事業計画に、保育及び人材の確保・育成、地域・保護者支援、設備及び経営などについて、「ウィズ・コロナ」を見すえた保育・行事の実施、職員の離職防止と確保、法人の保育の基本を踏まえた育成など、当年度の方針や取組の概要を定めている。また園長が一昨年度から5か年の「中長期事業計画」を作成し、分野構成を事業計画と同一として連動を図り、計画的な運営と課題解決につなげている。保育・行事などの日々の業務については、年間の予定と具体的な取組・目標等を定めた各計画を作成・実行し、取組の期間などに応じた進捗確認を行っている。</p> <p>保護者や地域の未就園世帯の声や、地域内の保育や子育て等の状況を把握している</p> <p>クラス別に保護者が集う保護者会や、各家庭との面談を定期的に設け、全体・個別の保護者の意向を把握するとともに、保護者参加の行事後には連絡通信アプリのアンケート機能を用いて感想・要望等を収集している。また見学受け入れ時の入園希望世帯との会話から、地域内の子育て等の状況を把握するほか、国分寺市の保育所園長会や、各地域の公立園を拠点に関係者が連携する市の「基幹型システム」などを通じ、市内及び地域内の保育・教育や子育て、施設経営等に関する情報や、関連する他園の動向などを把握している。</p> <p>職員の意向や事業環境の動向の把握、園の経営状況の管理などの仕組みを整えている</p> <p>職員の意向を、前述の各会議や個別の面談等を通じて把握し、保護者の声などとともに保育・行事や園運営などの参考としている。また上記の市の保育所園長会や法人内の全体・ブロック別の各系列園園長会、行政・法人の各種発信などから、施設経営に関連する行政の政策・制度の動向や、業界内の直近の話題などに関する情報を収集している。上記の事業計画及び中・長期計画の作成、年度の予算の立案と執行状況の管理は園長が行い、収支・稼働率の推移などの経営状況について、毎月の法人内の園長会で法人本部や系列各園との共有を行っている。</p>		

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当

サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリ3の講評		
<p>法人のすべての保育者が心得るべき規範・倫理について、職員への啓発を行っている</p> <p>法人が新入職者に研修を行い、各種マナーや身だしなみ・守秘義務をはじめとする社会人・職業人としての各種服務規律のほか、「誉める」「笑顔」「美しい仕草」などの法人の保育者としての規範や倫理について、理解と実践を促している。また常勤者は法人共通の項目による自己評価を年2回行い、これらに関する日常の実践を振り返っている。いわゆる不適切保育の排除についても、法人作成のチェックリストを用いた自己点検が全職員に年4回課されているほか、日々の会議では園長が折に触れ、子どもへの適切な関わりの徹底を促す啓発を行っている。</p> <p>保護者の苦情・要望等への対応や虐待等の防止など、利用者の権利擁護に取り組んでいる</p> <p>第三者委員を含む苦情解決の仕組みを整備し、玄関への掲示や入園時の説明によって保護者に周知を図るとともに、これらによらず日々の会話やアプリ連絡帳等で寄せられる要望等や、行政・法人に伝えられた意見を含め、案件に応じ組織内で検討のうえ、個別に相談の場を設けるなど、適切な対応に努めている。また毎日の送迎や衣服の着脱などの各場面で、職員が虐待等の兆候の発見に努めるとともに、必要の際の通報・連携先機関を定め、今年度改訂された「虐待防止マニュアル」を事務室に備え置くなど、虐待等への対応に備えている。</p> <p>地域に対し、透明性確保や関係者との連携に取り組み、共生をより深めたいと考えている</p> <p>ホームページや市の各種媒体を通じて園の情報を発信するなど、透明性の確保に努め、法人共通の手引書に基づき、民間企業からの職場実習生の受け入れも行っている。また市の保育所園長会や地域別の関係者会議「基幹型システム」など、保育・教育施設等の連携にも加わるほか、見学で来園する未就園世帯には育児相談等への対応を行っている。地元の神社の祭礼などを機会に、地域との関係をより深めたいと考えており、社会の状況などを見つつ、子育て支援の拡充も検討する意向である。</p>		

カテゴリ-4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>感染症や災害・侵入など、各種の重要リスクへの対策に取り組んでいる</p> <p>新型コロナウイルスをはじめとする感染症、災害・不審者や各種の重大事故など、重要と位置づける各種リスクへの対策に取り組んでいる。行政のガイドライン等に基づく各種防疫対策を日常的に行い、感染症のまん延防止に努めるほか、毎月の避難訓練実施により、災害時の的確な対応に備えている。また災害・感染症の発生を想定した各BCP(事業継続計画)を整備し、必要に応じた更新を行っており、研修・訓練等を通じた組織内の周知が今後の課題と思われる。不審者対策については、侵入を想定した警察署来園による訓練を毎年度設けている。</p> <p>熱中症・SIDSや子どものケガなど、保育中に起こりうる事態への対策に努めている</p> <p>猛暑時には戸外活動等の自粛などの熱中症予防に努め、子どもの睡眠時の状態確認、心肺蘇生・AEDやSIDS対応に関する消防署・看護師による訓練など、SIDS等への対策も行っている。アレルギーやけいれんの発生時の対応についても、看護師による訓練を設け、子どものケガなどの保育中の事故発生時には、状況確認や原因・対策の検討を行い、組織内への周知によって予防や再発防止を図っている。ヒヤリハットについても同様に把握と共有を図り、法人が発信する系列各園の各種事例についても、回覧や看護師・園長からの注意喚起を行っている。</p> <p>各種情報の取り扱いと漏洩の防止について、関連の規程等や仕組み・環境を整備している</p> <p>今年度改訂の法人共通の「個人情報管理マニュアル」に、個人情報の利用目的や開示・訂正等の請求への対応方針、各種情報の取り扱いや漏洩・滅失の具体例などが示されており、別に関連の各種規程が整備されている。職員には入職時、実習生等には活動開始時に、これらに関する啓発がなされており、保護者には入園時に利用目的等の説明と同意確認を行っている。各種書類は機密性などに応じて施錠管理し、PC・タブレット使用時などにはパスワード・IDによるログイン制限を行うなど、設備・環境面でも情報漏洩の防止に配慮している。</p>		

5 カテゴリー5		
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 11/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(〇●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(5-2)	
組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる	評点(〇〇〇)
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる <input type="radio"/>非該当
カテゴリ-5の講評	
<p>法人全体で取り組む人材確保や、適切な人事の実施と処遇面の配慮に努めている</p> <p>当園を含む系列各園の人材確保に、法人内の広報・採用委員会を中心に、各園が協力して取り組んでおり、法人サイトや各種SNSでの情報発信のほか、各種養成・採用機関との連携や各種イベント出展など、多様な媒体・方法による募集・採用を行っている。また面談等で把握した各人の意向と、それぞれの経験・適性や期待される成長・役割などを考慮し、各園の状況に応じた異動や、園内の配置・登用を行っている。それらの人事や行政の制度等を踏まえた処遇面の配慮や、外部機関によるストレスチェックなどの職員の心身の健康支援にも取り組んでいる。</p> <p>職員の成長の道筋を定め、自己評価と面談を軸とした成長支援の仕組みを設けている</p> <p>今年度、職員の入職後のキャリア形成の道筋を図示した「職員のキャリアプランについて」と、付属する職務分掌表・各職位の職務内容一覧を作成しており、これらをキャリアパスと位置づけている。訪問調査時点では園長・主任間のみで共有となっており、職員への周知や個別の目標設定等への活用、関連する人材育成計画の整備などが期待される。常勤者には法人共通の「振り返りシート」により、自己評価と年度の振り返り、次年度の目標や受講すべき研修の設定を行い、これをもとに園長との面談を行う、簡易的な目標管理の仕組みが設けられている。</p> <p>法人内の多様な研鑽の場や日々の会議を通じ、職員の専門性や組織の活力を高めている</p> <p>法人共通の保育の柱である「蓄める保育」について、当園を含む系列各園を会場とし、現場視察と話し合いによって保育者の見識を高める研修のほか、法人アドバイザーや外部機関による表現活動・チーム力向上や階層別の育成など、多様な法人内の研修が整備されている。また都キャリアアップ研修を中心に外部の研修も活用され、主に報告書等の供覧によって成果を組織内で共有している。各階のフロア会議や毎月の職員会議では、直近の保育や子どもなどに関する課題検討、経営層からの種々の啓発がなされ、保育の質と組織の同僚性の向上につながられている。</p>	

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<p>評価項目1</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>昨年度は、その前年度の開園初年度の状況や折からのコロナ禍発生等に伴う運営・保育両面の不安定性を反省として、法人の保育の基調とする「誉める保育」の質の高い実践に向けた人材の定着・育成と、その基盤ともなる各保育室の環境構成の充実を重点課題とした。事業計画では、人材面については園長・主任からのこまめな声かけなどの支援のほか、日々の各会議や法人内の研修等を活用した、誉める保育等に関する組織的な知見・技術の向上など、また室内環境については、子どもが自ら選択し、集中して遊び込めるよう、教具・教材の充実と提供に年間を通じて取り組むことなどを挙げ、それらの実行に努めた。</p> <p>また現場の中核となる主任・各リーダーの育成を念頭に、毎月及び随時のリーダー会議を設け、話し合いや園長からの啓発などを通じ、必要な資質の向上を促すとともに、現場の職員には、子どもの主体性の尊重や異年齢の関わり、誉める保育など、法人の保育の柱とするものについて、主任による研修を行った。法人による誉める保育に関する実務研修についても、当園を会場として系列各園からの参加者の助言を受けたり、他園での研修に職員を派遣するなど、学びの獲得に努めた。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目1で確認した組織的な活動や評価の選択に関する講評</p> <p>各会議では主任が中心となり、活発な意見交換や保育の方向性等の共有が図られた。また法人の研修や関連雑誌の記事なども、誉める保育や異年齢保育、子どもの自主性・自発性の伸長など、各保育者の知見・技術の獲得に役立てられた。職員の離職防止に関しても、年度途中で退職者が発生しなかったことなど、一定の成果を得た。</p> <p>教具・教材等の充実については、毎月予算を設け、各階のリーダーから主任・園長に要望や提案を上げ、必要な購入を行う流れとして、年間を通じて対応を図り、保育活動や子どもの心身の成長などに応じて、順次入れ替えを行えるよう、量的な充実に努めた。</p> <p>これらのほか、経営層は役職者間のコミュニケーションが促進され、保育の安定が得られつつあることや、前年度には発生していた市への苦情も昨年度は0件であったことなども、一連の取組の成果と考えている。今年度も取組を継続するとともに、人的体制面で昨年度より充実が図られたことから、保育の質をより向上させることを目指している。開園3年目を迎えるにあたり、これまでの2年間の成果と反省を糧に、保育や各人の仕事の精度を高め、園としての基盤をより強固なものとするためのスタートの年と位置づけている。</p>	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

上記「評価項目1」とも関連するが、昨年度は職員の離職防止と有用な人材の育成、職員間の協力・連携の促進の源となる組織の同僚性の向上にも取り組んだ。
 具体的な取組として、園長による定期的な個人面談の実施のほか、外部の専門機関によるチーム力醸成・促進の研修や、園長の主導による「ありがとうノート」を通じた職員相互の感謝・称賛の伝え合いなどを行った。また一般職員と経営層とのコミュニケーション面の不足が見られた前年度の反省を踏まえ、感染防止を徹底しながら、職員同士が関係を深めるための園内での懇親の場も随時設けた。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

面談は各職員についてそれぞれ年間に複数回行い、折々の心境や仕事・生活両面の悩みなどの把握の機会として、必要な支援に役立てた。またありがとうノートでは、各職員が他の職員への感謝や称賛を付箋に記し、貼り付ける形で、職員の共用スペースに常置するなどして各人が自由に使用・閲覧できるようにした。当初は園長・主任が中心となって活用を進められたが、徐々に他の職員も記入を行うようになり、運用は年度末まで継続された。
 チーム力醸成・向上の研修は年間2回行われ、自己紹介やゲームなどのアイスブレイクも加えつつ、話し合いを通じてチーム・園としての課題の抽出・共有などに取り組んだ。懇親の場の設定も、コロナ禍の影響で園外での会食等を行いきにくい状況の中で、各職員がいつか仕事を離れ、さまざまな話題で言葉を交わすなどし、チームワークの基盤となる互いの関係性の向上に活かされている。
 前年度と比較して退職者が顕著に減少するなど、取組は成果にも結びついており、今年度も引き続き行ってさらなる組織の活力向上を図っている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー1の講評		
	<p>ホームページを通じて、保育の特色や大切にすることなどを発信している</p> <p>法人のホームページ(以下、「HP」)には、系列園共通の保育理念とともに、「誉める保育」「夢中になって遊べる環境」「異年齢保育」の3つの大切にすることについて、象徴的な写真や端的な解説を掲載している。また、保育理念とその具体的な保育の内容をより詳しく伝える広報物「コンセプトブック」や、園での具体的な活動や子どもの姿などを紹介する動画も公開している。園のページにおいて、所在地・定員・職員構成・保育時間などの概要のほか、一日の流れや年間行事、園までのアクセスや避難場所を示すマップなどが紹介されている。</p> <p>行政との連携のもとで、地域の方々へ園の情報を公開している</p> <p>行政との連携のもとで園の情報を公開している。市のHPでは市内各園の住所・定員・開園時間・0歳児保育の開始年齢などを掲載するとともに、市内保育所の各年齢ごとの定員と空き状況などが公開されており、随時その情報が更新されている。また入園申込書類の施設紹介のページにおいて、保育理念や園の概要のほか、意欲・集中力を引き出す空間や知的刺激のある環境づくり、コミュニケーション能力を培う異年齢保育、子どもたちの豊かな想像力と表現力を高める表現遊びや造形活動といった保育内容の紹介も行っている。</p> <p>電話予約を基本として見学を受け付け、園内を回りながら、各種の説明を行っている</p> <p>見学は電話予約を基本として、園の対応可能な範囲で随時受け入れている。また時間帯については、11時頃から子どもの様子とともに、食事の風景も見てもらえるようにしているが、保護者の希望に応じて午後等でも対応することとしている。当日は主に園長が対応しており、子どもたちの遊びや給食、施設や登降園管理システムなど、一連の内容を見てもらいながら、適宜、説明と質疑応答を行うほか、子ども主体での保育や、フロアごとの異年齢保育と、担任でなく担当といったチーム保育など、特徴的な内容についても丁寧に伝えている。</p>		

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
2 サービスの開始・終了時の対応			
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園する各家庭に対して、利用開始にあたっての重要事項を説明している</p> <p>入園内定者には、入園説明会と個別の面談などを行っている。「入園のしおり」を事前に渡し、各家庭で目を通したうえで説明会に参加できるようにしており、当日は同じしおりをもとにポイントを押さえた内容を説明している。また適宜、質疑応答を行ったり、面談の際に相談に当たったりしたうえで疑問点等がないようにし、その後に重要事項や個人情報の取り扱いに関する同意書を取得している。また、入園直後において、新入園児内覧会を実施し、室内の様子を見てもらったり、補足の説明を行ったりして、保護者の理解が深まるように配慮している。</p> <p>入園時の子どもに関する情報の把握と、利用終了時の配慮を行っている</p> <p>入園前の個別の面談では保護者から提出される書類を参考とし、保護者の就労状況や意向、子どもの健康・発達・生活状況などを聴き取るとともに、保護者の質問や不安等の相談対応にも応じている。食物アレルギーや既往歴等があれば、状況に応じて看護師が同席して詳細な状況を確認している。面談で得られた情報は一覧表にして事務室内で掲示したり、会議で報告するなど、個々の状況の共有をしたうえで入園後の支援に役立てている。退園・卒園など利用終了時には不安等があれば相談に応じたり、手作りのアルバムを渡すなどの配慮を行っている。</p> <p>子どもが園生活をスムーズに開始できるよう、さまざまな配慮に努めている</p> <p>子どもが新たな環境に慣れるため、徐々に保育時間を延ばしてゆく「慣らし保育」を行っており、保護者の状況等を踏まえたうえで日程を決めている。特に入園後2週間は、子どもの状況の変化が生じやすくなるため、すぐにお迎えに来てもらえるような協力を依頼しつつ、その日の子どもの様子を、保護者に細かく伝えることで、安心してもらえるように配慮している。また乳児はできるだけ特定の保育者との関係づくりを意識し、スキンシップ等の関わりを持つほか、幼児では園のルールを伝えるなど、生活・活動をスムーズに開始できるような支援に努めている。</p>			

サブカテゴリ-3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めただうで、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ3の講評		
<p> 子どもの成長・発達などに関する情報は、定期・随時に更新される仕組みとなっている 子どもの身体的な成長は毎月の身体測定で把握・記録するほか、内科健診を年2回実施している。また予防接種や既往症の状況は保護者からの報告を受け、台帳に記録することになっている。発達状況の評価は、健康や生活、人との関わりなど年齢毎に定められた項目に基づき、0歳児から3歳の誕生月までは毎月、3歳では隔月、4歳以上は3か月に1回実施している。また保護者や家庭の状況は、日々の連絡帳のやり取りや送迎時の対話を通じて把握するほか、個人面談で聴き取った保護者からの要望等の情報は、面談用のシートに記録している。 </p> <p> 全体的な計画をもととして、長期・短期の各指導計画を作成している 保育の内容に関する全体的な計画は、系列園共通の書式を用い、園の状況を踏まえて策定している。年間指導計画は、養護・教育面のねらいと内容・配慮を明らかにするほか、長時間保育や保護者支援などに関する内容も記載し、期ごとに評価・振り返りを行っている。期ごとの振り返りについては、定期的開催されているフロア会議にて検討されている。また、保育内容や子どもの成長や発達、生活や遊びの様子や発達面等の個別の姿などもこの場で話し合わせ、これらの情報をもとに、月案や週案といった計画類を展開し、日々の保育に取り組んでいる。 </p> <p> 子ども一人ひとりの個別指導計画を策定し、保育内容を保護者に伝えている クラス全体の計画に加え、子ども一人ひとりの心身の成長発達を踏まえて、2歳児までは個別の指導計画を毎月策定し、個人の成長・発達に合わせた援助を行っている。個別の指導計画では、前月の子どもの姿からねらいを定め、必要な援助や配慮、振り返りの内容を記載している。また、子どもだけでなく保護者への援助における配慮点も想定し、家庭との連携を円滑に行えるように努めている。保育内容については、日々の対話や連絡帳・ノートのやり取り、園・フロア・保健・食育などの各便りを通じて保護者に伝えている。 </p>		

		サブカテゴリー5		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重			5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している				評点(〇〇)
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている			○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている			○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している				評点(〇〇〇)
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している			○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている			○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている			○非該当
サブカテゴリー5の講評				
<p>個人情報保護の努め、子どもの羞恥心の芽生えへの配慮に取り組んでいる</p> <p>入園時に「個人情報に関するアンケート」を実施しており、個人情報やプライバシー情報の取り扱いについて説明し、同意を得ている。入園後に情報を外部に提供する必要が生じた場合には、そのつど保護者に意向を確認している。子どもの羞恥心の芽生えへの配慮としては、着替えは上下を順に行って全裸にならないように伝えるほか、着替える場所を子どものロッカーで囲って周囲から見えにくくし、健康診断や内科健診の際にはパーティションを設置して子どものプライバシーを守るなどの配慮を行っている。また、幼児トイレは扉付きの個室にしている。</p> <p>子どもの状況や各家庭の意向を把握し、一人ひとりを尊重した支援に努めている</p> <p>入園前後の面談や日々の会話などから保護者の状況等の把握に努め、各家庭の意向や習慣に沿った配慮や支援につなげている。各フロアで異年齢の子どもたちが過ごす中で、一人ひとりの状況の把握と職員間での共有を行い、その子のペースに合わせた保育を行うとともに、子どもの主体性を尊重した環境整備と保育者の見守りのもとで、子どもの姿を見つめて蓄めることで、自己肯定感を獲得できるように援助を心がけている。これらの実践に向け、ケース会議で具体的な内容を話し合ったり、丁寧な関わりや子どもへの共感の大切さを確認し合う場を設けている。</p> <p>適切な保育の実践に向けた研鑽と、虐待対応の仕組みの整備を行っている</p> <p>法人共通のチェックリストによる各人の振り返りを定期的実施するとともに、会議において子どもへの適切な関わり方や大人の所作・配慮等を問いかけたり、事例を交えて話したりして、職員の意識継続を促している。虐待関係のマニュアルを整備し、登園や着替えの際の観察等から早期発見に努め、必要に応じて関係機関への通告や連携を図る仕組みを整えている。また階層・経験に応じて受講が課せられるキャリアアップ研修において、保護者支援に関する内容を受講することとなり、報告書の閲覧にて、組織内で知見を共有する仕組みとしている。</p>				

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(00)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー6の講評			
<p>園運営に必要なマニュアル等を整え、職員への周知と業務の徹底に努めている</p> <p>系列園共通のマニュアルには、職員の心得や子どもの人権の尊重のほか、災害・アレルギー・安全管理・健康管理・感染症などの各種業務手順や考え方などが定められており、事務室内で閲覧に供している。また災害や新型コロナウイルスなど、行政との連携や方針に基づいた対応が必要な事項などについては、市の手引きを参考としており、事務所内に掲示し、職員に周知を図っている。日常的な業務や実践状況について会議で確認したり、その徹底を促すほか、清掃・SIDS・食事提供・書類記載などについてはチェック表を用い、漏れがないようにしている。</p> <p>法人・園において、さまざまな視点を踏まえた見直しと改善に取り組んでいる</p> <p>法人内において、園長会・主任会・看護師会・栄養士会などの専門部会や各委員会による情報共有を図るとともに、それぞれの運営状況や行政等の通知などを踏まえ、各種の仕組みの見直しを行っており、変更した内容等が各園に展開されている。また系列園と相互に見合う「営める保育研究会」を通じ、他の職員からの意見や提案を聴いたり、他園の状況を見て自園の保育に活かしたりしている。園内では保育の環境や各書類の見直し、業務の改善などに取り組むほか、行事後の保護者アンケートや職員の振り返りなどを次回の計画や内容へと反映させている。</p> <p>安全・衛生面の手順の共有や訓練の実施など、万が一の対応に備えている</p> <p>会議等において、アレルギーや事故・感染症などの事例を踏まえた対処方法などの周知を図るほか、看護師から感染症予防の注意喚起やSIDS対策の徹底など、時期に応じた内容が促されている。またトイレに消毒の方法の掲示をしたり、嘔吐処理の用具と手順を示したマニュアルを各フロアに常備したりして、非常勤を含めた職員が即時に対応できるようにしている。さらに、AEDの設置や近隣の医療機関一覧表の作成をしたうえで、アレルギーや心肺蘇生など各種の訓練に取り組むなど、万が一の対応にも備えている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35 / 35
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目1の講評			
<p>子どもの発達状況の把握と、保育環境の工夫に努めている</p> <p>定期的に子どもの成長・発達を記録し、保護者との対話を通じて家庭での様子の把握に努めており、職員間においても日々の保育の様子を各種会議で話し合うなど、共有する時間を設けている。保育室の教具の内容や配置などは、週に1回見直しを行っており、子どもの興味や発達状況などから検討を重ねている。幼児クラスでは、遊びの内容ごとに棚と机を用意した落ち着いた遊ぶ場所と、ダンスや運動遊びなどの表現活動を楽しめるスペースを設け、静と動のスペースを分けるなど、子どもたちがより自由に活動とさまざまな体験を保障できるよう構成している。</p> <p>異年齢の関わりを通じて、心の育ちや遊びを通じた学びの獲得が促されている</p> <p>2～5歳児のクラスでは、子どもたちが生活と遊びをともにしており、年齢の枠にとらわれず、関わる集団を自由に選べるほか、活動場所も子どもたちの希望に応じ、室内・戸外の選択を可能としている。子どもたちは異年齢との関わりの中で、遊びを伝えたり、思いやりたりするなどの心の成長が育まれるほか、憧れから遊びを獲得したり、模倣することで生活習慣を学んだりするなど、お互いが刺激し合うことで双方の育ちが促されている。それぞれの成長に合った体験を提供する配慮にも努めており、年齢相応の制作・表現活動や話し合いなどが行われている。</p> <p>子どもの特性や成長発達に応じた援助や配慮を心がけている</p> <p>受け入れ時に、なかなかクラスに入ってこられない子どもには、保育者が1対1で話を聴いたり、気持ちを受けとめ、寄り添ったり、一人で落ち着けるスペースを用意したりするなど、子どもが次の場面へ進めるよう配慮がなされている。また、子どもたちのトラブルについては、言葉でのコミュニケーションができる子どもたちの場合は、基本的に保育者はその様子を見守り、子ども同士で解決する体験ができるようにしている。また必要に応じて間に入り、お互いが伝えなかったことを聞き取り、言葉を補い、話題を整理するなどの援助にも努めている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>送迎時には保護者と子どもの状況を伝え合い、情報は職員間で共有している</p> <p>受け入れ時には、子どもの顔色や機嫌のほか、傷や熱の有無などを担当の保育者が確認するとともに、保護者からも前日から登園までの子どもの体調や情緒の状況などを聴き取るようにしている。把握した情報は「受入・受渡連絡票」に記載し、担当職員が確認できるようになっている。また、受け入れ時に前日の様子が確認できるよう、前日にあったケガや体調の変化なども記載することになっており、子どもと保護者への配慮や情報の伝え漏れ防止につなげている。降園時には、子どもの一日のエピソードをできる限り保護者に伝えられるように努めている。</p> <p>基本的な生活習慣の獲得に向けて、子どもの成長発達・意欲に合わせた援助を行っている</p> <p>基本的な生活習慣の援助では、子どもの一人ひとりの身体機能の発達や意欲を踏まえたうえで、子どものペースや思いを大切にしながら無理なく進められるように努めている。排せつの自立へ向けた援助では、排せつの状況を確認できるチェック表を活用し、個々の状態の把握を行っており、適切なタイミングで声をかけることにより、子ども自身が排せつの間隔を身につけ、自ら排せつへ向かう姿へとつなげている。また衣服の着脱についての援助では、子ども自身が意欲的に取り組んでいる際には、保育者がさりげなく援助するとともに、その意欲を誉めている。</p> <p>休息は子ども一人ひとりのペースに合わせて取れるように工夫されている</p> <p>保育室内には、絵本コーナーなど、落ち着いた雰囲気の中で、ゆっくりと過ごせるコーナーが用意されている。昼食後に眠くなった子どもが自身のタイミングで寝具に向かえるよう、睡眠のスペースを確保するとともに、保育者も子どもの様子や家庭での生活リズムとの連携に配慮して睡眠を促している。また睡眠中の子どもたちへの配慮として、午睡をせずに活動している子どもたちに対しては、同じ保育室内に寝ている子どもたちがいることを伝えている。睡眠時にはSIDS対策として、定期的に子どもの呼吸や顔色、体勢等の確認を行っている。</p>		

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

子ども自身が自由に活動の選択をし、遊び込める環境づくりに取り組んでいる

子ども一人ひとりが、自分が遊びたい場所で遊びを選択できる環境の整備に努めている。子どもたちが自分の興味のあるものに取り組んだり、集中して遊び込めるよう、遊びや活動の特徴を考慮したコーナー設定が行われている。1週間に1回程度、子どもたちの興味や成長・発達に合わせた教具の提供ができるよう、コーナーの見直しを行っている。また、子どもがそれぞれに室内で遊びを選ぶだけでなく、屋上園庭などの戸外での活動や、別のフロアで年齢やクラスの異なる子どもたちと一緒に過ごすなど、自由に選択ができるようにしている。

子ども自身が主体的に集団活動に参加できるよう、意欲を高める援助に努めている

集団活動の際には、保育者が環境や場面の設定を行うとともに、それらへの参加を必須とするのではなく、子ども自身が自分の意欲で加わり、活動するということが大切にしており、保育者は子どもたちの興味や関心のほか、日々の遊びの様子なども考慮して実践するよう努めている。また、主体的に参加することが難しい子どもについても、無理強いせず、経験が失われないよう、同じ空間にいられるように誘いかけを行うなどの配慮を行っている。制作活動では、さまざまな道具や素材を、子どもがいつでも使い、作品が作れるよう環境が整えられている。

日常生活やさまざまな遊びを通して、ルールや決まりについて考える機会を設けている

日々の生活の中で、人に大きな迷惑をかけること、自他を傷つけるような行為があった際には、「やってほしくないこと」として伝え、叱るのではなく、子ども自身が納得し、理解や気づきを得られるように丁寧に関わることを大切にしている。屋上園庭には大型遊具(アスレチック)が設置され、「その上下では走らない」など、子どもたちとルールを決めているが、大人からの発信だけではなく、普段の遊びの中でも、子どもたちが「どうやったら約束を守ることができるか」などについて対話をする時間を設け、子どもたちで解決できるような取組も行っている。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>行事は日常との運動を意識し、子どもたちが自発的に取り組めるように工夫している</p> <p>行事については、普段の子どもの興味や関心を踏まえた内容としたり、本番に向けて日常の保育の中で行事の由来などを伝えることで、気持ちを高めたり、イメージをふくらませたりすることができるような事前の活動を意識的に採り入れ、子どもたちの自発的な行事への参加を促している。「もりんびっく(運動会)」や「フェスティバル(発表会)」などの行事では、子どもの成長・発達や日頃楽しんでいる遊びなどの成果の披露の場となるよう工夫されており、当日に向かう過程の取組においても、日々の遊びの中で子どもたちが取り組めるよう配慮している。</p> <p>子どもの感性を大切にしながら、子どもたちと一緒に行事づくりに取り組んでいる</p> <p>「フェスティバル」の内容は、普段の読み聞かせや先輩の園児への憧れなどから、子どもと保育者で決めている。その表現方法についても、桃太郎の話では保育者が「桃はどうやって流れてきたんだろう」などの問いかけをし、子どもが自発的に考え、表現する機会を設けている。また井の頭自然文化園に出かけて本物のサル生態を観察したことで、演じる際の鳴き声が「キャツキャツ」から「キーツ」に変わるなど、子どもの表現方法の自発的な工夫も促されており、そうした子どもの豊かな感性の育みや、一人ひとりの多様な表現を大切に支援にも努めている。</p> <p>子どもたちが安心して行事に取り組めるよう、保護者への協力を得ている</p> <p>「もりんびっく」で取り組んだダンスでは、コロナ禍でなかなか登園できず練習に参加できない子どもたち向けに、動画配信アプリを利用して配信することで、家庭での練習が可能となり、子どもや保護者の不安軽減につながっている。また保護者にも、子どもたちに向けた応援メッセージを記載した万国旗の作成に協力してもらったり、「お泊り保育」では、食事について家庭と連携しながらメニューを決定したり、親元を離れて過ごすことへの不安感が増さないよう、子どもたちに向けて声をかけてもらうなど、積極的な協働と参画を得るよう配慮をしている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>子どもたちが飽きずに遊んだり、ゆったりと過ごせるような支援を行っている</p> <p>0・1歳児と2歳以上児の各フロアで異年齢保育を実施しており、定期的に部屋の玩具やコーナーの設定を見直し、集中して遊べるような環境づくりと、飽きがこないような配慮に努めている。延長保育では乳児フロアを使用し、子どもたちがさまざまなことに興味を持ったり、普段と違った年上・年下の子ども同士が関わりがもたれている。またおやつや補食を提供し、お腹を満たしてゆったりと過ごせるようにするほか、疲れたら布団で休息できるようにしたり、寂しくなってきた時には大人が声をかけてそばについたりして安心できるような関わりも行っている。</p> <p>園生活において、活動のメリハリを持たせつつ、気持ちに寄り添った配慮に努めている</p> <p>園生活において、子どもが室内・戸外といった活動を選び、思い思いに過ごせるようにしている。また園庭や散歩、室内での季節の制作やオペレッタ、ダンスやトランポリンを用いた遊びなど、静と動の活動を採り入れつつ、子どもに誘いかけたりして、さまざまな経験ができるように配慮している。子どもの体調の変化やその時の気分によって、静かな場所で過ごしたい子どもには保育者が付き添い、1対1で散歩に出かけたり、他児のいない部屋で心身ともに休むことができるようにしたりするなど、一人ひとりの気持ちに寄り添った配慮も行っている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>子ども一人ひとりの生活リズムに合わせた、食事の提供に取り組んでいる</p> <p>毎日の食事は、全員が一斉に食べ始めるのではなく、それぞれの生活リズムや空腹感、子ども自身の遊びの状況などを考慮し、一定の決められた時間内であれば、それぞれの食べたいタイミングで摂ることができるようにしている。また子どもたちが落ち着いた雰囲気の中で食事ができるよう、仲のよい友達と食事テーブルの準備をしたり、手洗いを済ませテーブルに着席し、食事担当の職員から名前を呼ばれハイタッチとハグをしてから食事を取りに行ったりするなど、子どもが遊びから食事へと気持ちを切り替えられるような配慮にも努めている。</p> <p>食物アレルギー対応や離乳食の提供において、誤配や誤食防止の対策が講じられている</p> <p>食物アレルギーについては、医師の診断のもと個別対応を行っている。対象の子どもには専用の席を設け、担当職員が必ず同席し、食事の提供を行う決まりとしている。その際、他の子どもたちとは色違いの専用トレーを用意することで、見た目でもアレルギー食とわかる工夫をしたり、提供までの各段階で複数の職員がチェック表等を用い確認するなど、誤配の防止に努めている。離乳食については、入園時に保護者から、食事の状況・経験食材・嘔下・咀嚼などの把握を行い、入園後も同様に家庭と随時連携を取りながら、段階ごとに進めている。</p> <p>子どもたちが食を通じたさまざまな活動を行うことで、食への興味や関心を高めている</p> <p>給食のメニューは和食中心で、主菜・副菜はだしを効かせた薄味で調理し、素材そのものの味を意識できるような工夫がなされている。また、献立はできるだけ多くの食材や調理法に触れる経験ができるよう配慮するほか、月1回程度のペースで、各地方の郷土料理や行事食など、子どもたちの食への関心が高まる特別メニューの提供も行っている。子どもたちが屋上園庭の畑で栽培し、収穫したナスなどの野菜は、クッキング活動などに利用されるほか、オペレッタ(音楽劇)や絵本の題材とも関連づけて話をするなど、さまざまな活動との連動も意識している。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもが自ら気づいたり、取り組んだりできるような関わりと環境の工夫を行っている</p> <p>子どもたちが自ら健康に意識が持てるよう、生活の場面ごとで手洗いに取り組むとともに、手洗いの手順や咳エチケットに関するイラストを掲示し、子どもの理解が深まるように工夫している。また衣服の調整をできるよう、気温の差によって低年齢児には大人から促したり、幼児ではすべてを伝えるのではなく、子どもの体験や感じたことを尊重しつつ、自ら気がつけるような働きかけも意識している。日頃の活動の中で遊具の使い方や屋上での遊び方などを伝えるほか、散歩時には車道に出ないことや横断歩道の渡り方など交通ルールを確認したうえで出かけている。</p> <p>専門家との連携のもとで、子どもの発育や健康面の状況を把握・記録している</p> <p>嘱託医による定期的な健診があり、子どもの発育や健康状態の確認とともに、発育・保健面での助言や感染症などに関する情報提供が得られている。また医療的な面で保護者から不安や質問等があれば、看護師から助言を行ったり、嘱託医に相談したりして、保護者への対応をしている。健診結果は身長・体重などの結果とともに、「健康の記録」を通じて保護者と共有している。日々、看護師が各フロアをラウンドし、担当との連携や受け入れノートの確認などで全体の健康状態を把握し、気になる事項や体調変化などがあれば、必要な対応を行っている。</p> <p>保護者に対して、子どもの健康管理や感染予防などの保健の情報を提供している</p> <p>上記に加え、アレルギー等の個別状況を把握し、医師の指示のもとで園での対応にあたっている。入園時に子どもの健康管理や感染症・SIDSなどの保健関連の情報を説明するほか、その後は定期的に発行する保健便りを通じて、時期にあった園生活及び家庭で役立つ健康・安全面の情報提供に努めている。また玄関フロアには保健コーナーを設け、登園の目安と健康観察のポイント、熱中症対策など、その時に必要な情報を掲示するほか、感染症の発生時の人数を適宜知らせており、状況によっては該当する感染症の予防や対応などに関する情報提供も行っている。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

各家庭の子育てや就労等の事情を把握し、さまざまな配慮と支援を行っている

保護者の就労や子育て等の個々の事情は入園時及びその後の面談、日々のやり取りなどを通じて把握し、相談に応じたり、可能な配慮に努めている。また月極やスポットでの延長保育を行い、急な残業等での柔軟な受け入れと、所定の期限までの申し込みで補食・夕食の提供も可能とするなど、各家庭の就労状況に合わせた支援を行っている。保護者参加の主要な行事は土曜日に設定しており、年度当初の年間行事予定の配信と、毎月の便り等を通じた直近の予定のお知らせを行うなど、保護者が見通しを持ち、日程調整がしやすいようにも配慮している。

保護者との連携を図りながら、子どもの姿や成長、保育の内容などを共有している

日頃のコミュニケーションを大切にし、送迎時に積極的に声をかけ、子どもに関する情報を共有するとともに、連絡帳のやり取りや幼児フロアの一日の報告の配信など、子どもたちの様子や姿などを保護者に知らせている。またフロア便りや保護者会では、写真等を用いて可視化しつつ、保育の方針や子どもの育ちなどを保護者と共有している。個人面談を実施しており、園の生活や5領域を踏まえ、子どもの姿や内容などを伝えている。事前に質問があればその内容を説明したりして、各家庭の状況や保護者の意向などを把握し、園での支援や配慮に反映している。

行事等への参加を通じて、保護者同士の会話や交流の機会につなげている

保護者同士の交流機会として、新入園児内覧会では新たに入園した各家庭の方々と顔見知りや話のきっかけづくりの一助となっている。また保護者会では子どもの育ち等を共有するだけでなく、保護者同士がグループごとで話ができる機会を設けており、保育者がファシリテーター役で各グループに入り、他の保護者の意見や悩みなどを共有し合えるようにしている。その他、夏祭りや「もりんびっく」などの行事は感染対策を講じたうえで、保護者に子どもの姿や様子を見てもらうほか、親子の関わりや各家庭との自然な会話ができる機会ともなっている。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>地域資源を活かした戸外活動が、子どもの体験や人との関わりを豊かなものとしている</p> <p>園周辺の資源を活かし、子どもたちが散歩に出かけ、商店や交番の方と挨拶をするほか、クッキングで使用する野菜等を八百屋で購入したり、誕生日の日には花屋で花を購入したりと、その場のやり取りを楽しみながら職員以外の人とのコミュニケーションを図っている。春・秋のピクニック遠足があり、公園で季節を感じながら身体を動かして遊ぶほか、年度によって動物園・博物館などの場所へ出かけ、さまざまな体験が得られている。また春・秋ともに、いつもと異なる場所で弁当を食べる機会があることで、食事への楽しみが膨らむことにもつながっている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル①	人と環境の両面で、組織のチーム力の促進や、その基盤づくりに取り組んでいる	
内容①	チーム力向上を目的とした研修を年間複数回設け、話し合いの環境の整備や園の課題の抽出・共有に取り組むほか、日々のフロア・全体の各会議でも、主任を中心に現場の諸課題を話し合い、昨年度は職員が互いに感謝・称賛を伝え合う「ありがとうノート」も運用している。また園長が個別の面談を各職員に年間複数回行い、各人の状況に即した支援に活かすほか、会議では折に触れて子どもへの関わりや社会人としての素養などに関する啓発を行い、教具・教材の計画的な充実にも取り組むなど、人と環境の両面で、組織の活力の豊かな源泉づくりにも努めている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている
タイトル②	保育の向上や業務の効率化などを両立させながら、さまざまな工夫を行っている	
内容②	リーダー層の新たな視点から業務の効率化や見直しに取り組んでいる。これまで使用していたチェック表や子どもの生活管理等の様式は、文字の大きさや表記の仕方などをわかりやすく、かつシンプルなものへと変更している。また昼寝用のタオルや屋上用の靴入れの収納方法を誰でも探しやすいように変更したり、子どものハンガーに顔写真をつけたりするなど、無駄をなくしつつ、子どもが主体的に取り組める環境の工夫も両立させている。これによって子どもが自分のことを自分でできる機会が増え、できた安心感や自信などを培う一助にもつなげている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル③	年長ならではの活動を採り入れ、年上の自覚や就学の見通しが持てるようにしている	
内容③	異年齢と年齢別の活動を織り交ぜており、5歳児は就学に向けて年度途中から「ぞう組ランチ」の時間を設け、市内の小学校の給食を食べる時間を目安とし、見通しを持って食べることに取り組んでいる。また「お泊り保育」では、法人所有のバスに乗って「夕焼け小焼けふれ合いの里」へ出かけて川遊びをしたり、園に戻ってからカレーライスやカキ氷を食べ、一晩をみんなで過ごすといった経験が得られている。これらの活動を通じて、年上の自覚も高まりつつあり、日々の異年齢での生活において子どもたちの相互の育ちが深まるよう、活動の充実に努めている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	日頃の活動からの興味を踏まえて子どもたちが主体的に取り組んでおり、そこから行事へのつながりや期待が持てるようになっている
	内容	「フェスティバル」では日頃親しむオペレッタ(音楽劇)を発表している。その演目については、子どもたちがこれまで行った読み聞かせの中の好きな話を題材として選び、発表に向けて普段の活動の中で歌ったり、演技をしたりすることで、子どもたちが興味を持ち、主体的に取り組めるように配慮している。また、その題材は「もりんびっく(運動会)」の競技内容に採り入れたり、ピクニックやクッキングなどの行事で表現方法を深めるような内容を工夫したりすることで、子どもたちの興味・関心のつながりと行事への期待が持てるようになっている。
2	タイトル	生活習慣の自立に向け、子どもの意欲を尊重した日々の積み重ねを大切にしており、年齢相互の育ち合いも行われている
	内容	基本的な生活習慣の自立に向け、食事や衣服の着脱など、0歳児クラスからの積み重ねを大切にしている。例えば食事において子ども一人ひとりが振る際には、保育者が食べ方や姿勢などを伝えるほか、2歳以上児となると異年齢混合のフロアの中で、年上の子どもたちの食べる姿を真似しながら食べたり、子ども自身が配膳・下膳を行ったりする姿が見られている。着脱についても同様で、低年齢児の頃に保育者が丁寧に関わり、子どもの意欲を尊重しながら、自発的に着替えに取り組めるようにするなど、日々の積み重ねと子どもの意欲を尊重した支援に努めている。
3	タイトル	日頃のコミュニケーションを大切にしながら、行事や各種の発信などを通じて、保護者との相互理解を深めている
	内容	連絡帳でのやり取りや日々の会話を大切にしながら、園と家庭とで子どもの様子を伝え合い、保育に活かすほか、個人面談や保護者会等を通じて、子どもの育ちを共有している。またアプリを通じた連絡と毎月の便りの配信のほか、行事の際に状況や必要性に応じて動画配信を活用するなど、情報共有の効果や利便性を高める取組も行っている。行事は感染対策を講じたうえで保護者に参加してもらおうとともに、実施後のアンケートを実施し、意見等を次回以降の工夫・改善の検討へと反映させるなど、さまざまな取組を通じて、保護者との相互理解を深めている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	これまでの積み上げた内容やその思いを継承し、定着させてゆくための継続的な取組と今後の工夫に期待が寄せられる
	内容	園が目指す保育に向け、会議において美観・整理や保育者の立ち居振る舞いなど、常に子どもの最善の利益となっているかを問いかけたり、事例を交えながら子どもを誉め、認めることの大切さなどを共有している。またフロアごとの話し合いを通じて、職員の意識や考え方、各種の改善及び工夫などを確認し合い、その実践に努めている。一方でこれまでの積み上げた内容やその思いを継承し、定着させてゆくという観点ではさらなる向上の余地があるため、引き続きの取組とともに、園で大切にしている思いをつないでゆくための今後の工夫にも期待が寄せられる。
2	タイトル	「職員のキャリアプラン」等のさらなる検討やその組織への周知、関連する人材育成計画の検討が期待される
	内容	今年度、職員の入職後のキャリア形成の道筋を図示した「職員のキャリアプランについて」と、付属する職務分掌表・各職位の職務内容一覧を作成している。保育職については、経験等に応じて求める能力等をより具体的に示すなど、さらなる検討の余地も見られるほか、これらを組織全体に周知させ、各人が長く法人で働き続けるための展望の参考に供するとともに、個別の目標設定等にも活用することが期待される。またキャリアの各段階で望まれる研鑽などを示す人材育成計画についても整備し、計画的な育成や教育・指導体制の確立に活かすことも期待したい。
3	タイトル	「中長期事業計画」を内外の状況を踏まえて見直し、その過程をリーダー層の育成や、組織としての方向性の共有にも活かされたい
	内容	園長作成の開園初年度から5か年の「中長期事業計画」に、保育や人材の確保・育成、地域・保護者支援、設備の管理と健全経営など、法人共通の年度事業計画と同一の分野構成で、中・長期的な視点での重点課題や取組の概要・方針を定めている。計画は開園後3年を経ようとしている現時点での状況を踏まえ、内外の情勢に鑑みた見直しを行うことも意義あることと思われるほか、それらの作業は注力する主任・各リーダーの育成の一環として、経営層間で協力して行うとともに、現場にも発信して園の今後の方向性の共有に活かすことも一考されたい。